

発表者氏名： 今泉 浩和

所属学校： 中学校

派遣職種： 理数科教師

派遣国： ナミビア

派遣先： 教育省アンディバ・トイボ・
ヤ・トイボ高校

タイトル： 知られざるナミビア

キーワード： ナミビア初代帰国隊員

発表要旨：

外務省のホームページに基礎情報があるのみで、JICAのホームページでさえ、生活情報すら載っていないナミビア。それもそのはず、南アフリカ依存型の資本経済をベースに1990年の独立という新生国家であるナミビアは、数あるアフリカ地域の国々の中では先進的な発展をしているにも関わらず、日本には知られざる国です。しかし、アパルトヘイトの影響が根強く残る北部地域を中心に、黒人層への教育の立ち後れが目立つことを受け、2004年の年末に、日本はナミビアと青年海外協力隊派遣取極を交わします。JICAは2005年に募集をかけ、私は運良くこれに乗じて2006～2007年に活動、2008年4月、この春からは現職復帰しています。

任地では高校の物理化学教師として、現場に入り込み、日本での教職17年の経験を生かして、生徒への教科指導だけではなく、先生方に指導法をアドバイスしたり、円滑な学校経営に向けての提案をしてきました。日本の片田舎でこじんまりと中学教師をしていた私にとって、全校生徒1000人規模の高校での活動は、海外という枠を超えて苦勞したこともありましたが、だからこそ、思いついたこと、試してみたかったことがたくさん出てきたのだと思います。

帰国後は、また小規模な中学校に勤務しております。生徒会を中心に、世界に目を向ける活動を展開しているくらいで、これといったことはしておりません。特にアフリカの子どもたちに、予防接種の寄付をペットボトルのキャップで募っているくらいです。また、日本の立場と海外支援の大切さを訴えるために、協力隊の募集説明会に参加しています。とにかく、知られざる国、ナミビアからの帰国隊員第1号として、報告(還元)の場を広げたいと思っています。

